

令和4年度第2回阿倍野区区政会議全体会でのご意見と対応一覧

[分類]

- ①当年度(4年度)において対応
- ②5年度に対応予定
- ③5年度では対応できないが、今後引き続き検討
- ④その他

番号	年月	会議	意見内容(要約)	対応(回答)	分類	担当
1	R4.10	第2回全区政会議	「防災ジュニアリーダーについて」 31名の防災ジュニアリーダーがいるのはよいことである。しかしながら、卒業後のフォローがなければ自然消滅してしまう。何かつながりを続けてもらえるような制度はあるか。 また、研修で起震車を活用して地震体験をしてはどうか。楽しく防災の勉強をしてもらえるようにしてほしい。 (東野委員) (ご意見シートによる意見聴取)	防災ジュニアリーダーは、高校卒業まで加入いただけますが、中学卒業後も継続していただけるよう、今年度より消防署の協力で研修を実技中心に切り替え、はしご車(実際には高所作業車)体験やアルファ化米を使ったカレーづくり(新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止)など、楽しく防災を学ぶ機会とできるよう改善しました。引き続き、参加意欲を高められるよう、ご提案いただいた起震車や阿倍野防災センターを活用した研修を複数回実施するなどの工夫を重ねてまいります。	①	市民協働担当
2	R4.10	第2回全区政会議	「防災にかかる目標について」 防災に関する目標が区民や地域防災役員の「意識向上」となっているが、9月の880万人訓練での無線訓練で無線がうまく操作できなかったという話もあり、自主防災組織が日常生活の中で防災活動を粘り強く継続できる支援や、自主防災組織の防災活動や備蓄などを確認できる具体的な目標設定が必要ではないか。 (今井委員) (ご意見シートによる意見聴取)	MCA無線は、ある程度操作に慣れていただくことでスムーズに使用できるようになるため、地域訓練などで通信訓練を行っていただいております。今後も、機会ごとに通信訓練を重ねていきたいと考えます。 防災に関する具体的な目標設定については、取組内容として、自主防災組織が実施する初期初動対応にかかる救出救護・通信等の訓練(まちなか防災訓練)等の自主的な防災活動の支援や「我が家の防災プランnavi」を活用した家庭内備蓄など日ごろの備えにつなげることを目的に取組を進めてまいります。阿倍野区として、取組を計画的に進め、その有効性を検証しながら阿倍野区将来ビジョンに掲げる、区民や地域防災役員の意識の向上をめざしています。	①	市民協働担当
3	R4.10	第2回全区政会議	「自主防災組織活動の支援について」 昨年の西成区との境界で発生した崩落事故では隣接の丸山地域が一時避難することになったが、自主防災組織としての自主的な動きはなかった。災害時には区災害対策本部の指示で動く防災組織ではなく、主体的に判断して行動する自主防災組織の必要性を感じている。 (今井委員) (ご意見シートによる意見聴取)	阿倍野区の避難所開設マニュアルでは、震度5弱以上で自動的に自主防災組織により避難所を開設することとしています。先日の台風14号の際には、地域の方の自主避難に対応できるよう地域の会館を準備していただいた地域もあり、地域の主体的判断で災害対応していただく意識が高まっていると感じています。 なお、崩落事故の際には、丸山地域が自主的に会館の開設準備をされ、避難に備えていただいたことを確認しています。	①	市民協働担当
4	R4.10	第2回全区政会議	「崖の安全性について」 阿倍野区は津波などの水害の心配はないが、高台に位置しており崖となっている部分が存在している。昨年の工事が誘発した崩落事故の例もあり、地震の際の崖の安全性などを調査する必要があるのではないか。 (今井委員) (ご意見シートによる意見聴取)	ご意見については、道路管理者である建設局など、所管部局に情報提供しました。 崩落事故現場につきましては、業者決定し10月30日から通行止めを行いながらのり面の補強工事に着手します。 また、認定道路については、異常及び危険箇所の発見並びに緊急・応急処置の実施や道路交通に支障を与える障害物の除去など道路を常時良好な状態に保つため日々巡視し早期に発見できるよう努めています。	①	市民協働担当
5	R4.10	第2回全区政会議全体会	「子ども110番の家について」 子ども110番の家の登録のある家に実際に子どもが行っても受けていただけるような場所なのかということが気になっているので、家がないとか、やめられた、転居された、という状況を年に1回か2回チェックしていただきたい。 (高岡委員) 子ども110番の家の登録して何年も経過して、黄色い旗が白く変わっているなどの状態がある。 (山崎委員) 「子ども110番巡回」も住吉区の広報紙に載っていたが、阿倍野区でも実施しているのか気になった。子どもに何かあったときに、「子ども110番に駆け込むんやで」と言われても、どんな人が住んでいるかも分からないので気軽にに行ける状態を作れるというのがいいなと思った。 (金光委員)	「子ども110番の家」の旗等については、数年経過する中で転出や滅失等があることが判明した時点で、対応しております。今後、地域で有効に活用していただくためにも、地域みまもり隊による巡視の際に旗の劣化などの確認を行い、計画的に名簿の整備や、旗等の更新を順次進めてまいります。	①	市民協働担当
6	R4.10	第2回全区政会議	「自転車マナーについて」 自転車マナーについて、警察にも協力いただき、あべのカーニバルやスポーツフェスタ等のイベントで、夜間飛び出し注意、ながらスマホ、自転車の飲酒運転等の罰則の周知徹底をお願いできないか。 (東野委員) (ご意見シートによる意見聴取)	自転車マナーについては、10月10日開催のあべのカーニバルでも阿倍野警察署の協力による啓発を実施したところであり、今後も様々なイベントを活用し、警察とも調整しながら対応してまいります。	①	市民協働担当
7	R4.10	第2回全区政会議	「防犯・交通安全について」 警察の若手署員が各学校に訪問して、定期的に防犯や交通安全について説明はできないのか？ (東野委員) (ご意見シートによる意見聴取)	阿倍野警察署と連携して、保育所、幼稚園、小学校の交通安全教室や、防犯教室を実施しております。また地域会館での特殊詐欺防止啓発も実施しております。今後とも、学校や地域に働きかけを行い、阿倍野警察署と連携し交通安全・防犯の啓発を実施します	①	市民協働担当
8	R4.10	第2回全区政会議全体会	「災害時等要援護者名簿について」 災害時等要援護者名簿を災害時だけでなく、高齢者がけがをしたとき等の緊急時に大変役に立った。ただ、障がいはないけれど高齢化による課題も出てくるので、名簿に掲載する方をもう少し充実させてもいいのかなと思う。 また、地域での名簿の持ち方について、個人情報のこともあると思うが、けが、交通事故などすぐに家族を呼ばないといけない緊急時に対応できるよう普段から持っていてもいいものなのか。町会長に説明できるように名簿を誰が持てばいいか明文化が必要ではないか。 「個別避難計画の作成について」の説明資料の中で、災害時等要援護者名簿をもとに、要介護5の人を優先対象者に設定すると載っているが、この要介護度は自動的に区役所で切り替えはできているのか。 (久保委員) これだけ高齢化になって独り住まいが多ければ、災害時等要援護者名簿のことを真剣に考えないと、緊急のときに対応できないと思う。緊急時に対応できないと思う。急病など緊急時に、個人情報の問題もある中、名簿をどのように活かせるかについて、地域への説明が必要ではないか。 (二家委員)	災害時等要援護者名簿は、平時の見守り活動に活用する名簿であるとともに、災害時に重要な役割を果たす名簿であり、その活用方法については重要な課題と認識しています。 名簿の登録は、要介護3以上、身体障がい者1・2級など一定の条件を満たす方のうち、名簿への登録に同意をいただいた方に加え、阿倍野区では、名簿に登録を希望された方(健康ではあるが、一人暮らしで不安な高齢者など)を登録しております。名簿の更新は、年に2回、阿倍野区役所において行い、要介護度の変更や転居等も反映して、最新の情報にしております。 個人情報保護の観点から、地域ごとに、名簿の持ち方を取り決めておられると思います。各町会単位でも申請していただければ、町会ごとの名簿を提供することができます。現実的な運用方法についてご相談いただければ、区社協とともに検討してまいります。 個別避難計画の作成については、自力で避難するのが困難な、優先度の高い方(要介護5、身体障がい者等)から、計画を作成しているところです。また、計画の作成を契機として、災害時要援護者名簿を有効に活用するとともに、個人情報の取扱いに関する地域の皆さんの理解の促進や日常的な見守りネットワークのさらなる強化につなげたいと考えています。	①	福祉担当
9	R4.10	第2回全区政会議	「緊急通報システムについて」 緊急通報システム申請時の緊急通報先に町会長を含めると、緊急時の連絡先にかかわる問題を解決できるんじゃないかと思う。 (人見委員)	緊急通報システムは、65歳以上のひとり暮らしの方などが、急病など緊急時にボタンを押すなどにより、受信センターと通話ができ、その緊急通報を受け、状況に応じて申請時に緊急連絡先として登録した協力者や親族などへの連絡や、救急車の出動を要請する事業です。高齢者や障がいのある方には非常に心強い手段だと認識しておりますので、必要な方にはお持ちいただけるよう周知に努めてまいります。	①	福祉担当
10	R4.10	第2回全区政会議	「見守りネットワークについて」 普段からの見守りのネットワークがうまく機能するように、さらに全体の連携や情報共有の仕組みが見えやすくなるとよいと思う。区社協が全体状況がある程度把握していると思うので、社協からの説明もあるとよいと思った。勉強会は今後も続けてほしい。 (永岡委員) (ご意見シートによる意見聴取)	要援護者の見守りネットワークづくりの状況については、引き続き、区政会議福祉・健康づくり部会や地域福祉推進会議において、定期的に報告・情報共有に努めてまいります。区社協には、最前線で地域におけるネットワークづくりに取り組んでいただいております。必要に応じ、関係会議において、区社協から説明する場を設けてまいります。	①	福祉担当
11	R4.10	第2回全区政会議	「改正児童福祉法の施行に向けて」 改正児童福祉法の施行に向けて、虐待の解決、居場所づくり、相談支援のセンターの整備を早めに取り組む必要があります。阿倍野区として、要対協の機能の強化、保育園、学童保育、学校、社協などの連携、また子どもの立場からの意見も反映するように、地域福祉計画の推進とも関連させて進めてほしいと思っています。 (永岡委員) (ご意見シートによる意見聴取)	阿倍野区としての、児童虐待の防止対策や子育て世帯の支援につきましては、児童虐待防止アウトリーチ事業や子どもサポートネット事業、また、子どもに関する相談や不登校児などの相談支援事業、子どもの居場所や学習支援事業等の取組みによって、各関係機関との連携や、当事者の現状把握に努めながら、地域福祉計画の推進とともに取組を進めてまいります。	①	子育て支援担当(福祉担当)

[分類]

- ①当年度(4年度)において対応
- ②5年度に対応予定
- ③5年度では対応できないが、今後引き続き検討
- ④その他

番号	年月	会議	意見内容(要約)	対応(回答)	分類	担当
12	R4.10	第2回全区政会議	「プロギングについて」 プロギングを行う場合、街中では多くの障害物があり事故が心配だと感じました。道幅が広く交通量が少ない場所で行うなど、安全性に配慮が必要と思われます。 (荒田委員) (ご意見シートによる意見聴取)	プロギングのような環境にやさしく、地域や各種団体とも連携した健康づくりにつきましては、安全性を踏まえ、取組を研究してまいります。 ※プロギング(plogging): ジョギングしながらごみを拾う、新しいSDGsフィットネスです。 スウェーデン語の「plocka upp(拾う)」と英語の「ジョギング(jogging)」を合わせた造語でスウェーデン人アスリートがごみ拾いに専念したランニングとして2016年に始めました。	③	保健活動担当
13	R4.10	第2回全区政会議	「自治会・町内会の加入促進について」 マンションの住人と地域とのコミュニケーションがほとんど無く、掃除活動等の地域行事にも出てこられたことが無い。コミュニケーションをもっと促進すれば、自治会、町内会の加入促進に繋がるのではないかと考えている。 (人見委員)	阿倍野区としてもマンション住人をターゲットとする地域コミュニティづくりは重要だと考えており、一昨年には防災を切り口にした「マンション防災を考えるセミナー」をオンラインで開催しました。対象のマンションは、地域役員の意見も聞き選定を行いました。 今年度につきましても、マンションをターゲットに「令和4年度阿倍野区マンション防災計画モデル作成事業」を進めております。今後は、マンション住人も含めて、マンション特有の課題や、地域役員のご意見などを反映させて、マンションの防災計画を作っていきたいと考えており、その計画を作る過程において、マンション住人によるワークショップ等を通じて、地域コミュニティの大切さや、災害時の自治会・町内会の果たすべき役割も伝えてまいります。	①	市民協働担当
14	R4.10	第2回全区政会議 全体会議	「自治会・町内会の加入促進について」 自治会・町内会の加入促進について、最近引越して来られた世帯にお声掛けしたところ、当初は町会に「入りません」という対応であったが、色々説明を行ったところ、最終的には「町会には加入するが、役員は出来ない」という返答をいただいた。地域の各世帯はそれぞれ状況もあるが、地域役員として、自治会・町内会への加入促進活動を行っていく。 (東野委員) (ご意見シートによる意見聴取) 自治会・町内会の加入促進について、自治会・町内会は何のためにあり、何をしているのかがよく分からない。参加してみると分かるが、参加しなければ分からないので時間を取られる気がする。また、マンションには組合があるが、そちらと自治会・町内会の兼ね合いがよく分からない。 (荒田委員) (ご意見シートによる意見聴取)	自治会・町内会の啓発については、広報紙の1ページ目の啓発記事「自治会・町内会に加入しましょう」を継続していくとともに、部会でいただいたご意見をもとに、町内会・自治会活動を紹介するなど、情報の充実に努めてまいります。また、自治会・町内会加入啓発チラシの活用につきましても、阿倍野区では、転入者へ配付しているほか、地域においても活用いただいております。今後も有効的に啓発できるように検討してまいります。	①	市民協働担当
15	R4.10	第2回全区政会議	「コミュニティ育成事業について」 コミュニティ育成事業について、新型コロナウイルス感染者がゼロになることは当面難しいが、感染症対策を徹底したうえで、飲食店等の模擬店の出店や警察のパトカーの体験乗車等、子供が楽しめるような内容を考えてほしい。 (東野委員) (ご意見シートによる意見聴取)	10月10日にあべのカーニバルを現地開催しました。当日は、実行委員会や地域の皆様のご協力により、飲食を含むブースの出店や、消防局より起震車を派遣いただくなど、子どもも楽しめるものも取り入れました。今後も、誰もが楽しめる事業を実施できるよう工夫してまいります。	①	市民協働担当
16	R4.10	第2回全区政会議 全体会議	「教員の勤務時間について」 大阪市の教員は、他の自治体の教員に比べて「仕事がつらい、勤務時間が長い」という話をよく耳しますが実際はどうなのですか。 (吉本委員) 「教員の勤務時間について」 学校の先生が、保護者からの色々な質問などの対応に追われて、勤務時間どおりになかなか帰れないと聞いていますが、例えば何時から何時までの間は学校の電話がつながらなくなるなど出来ないのでしょうか。こういうことをしないと、先生が結局しんどくなって、辞められたりするのではと問題に思っています。区としてはどう考えていますか。 (東野委員) 「教員の人員確保について」 最近の若い方が「学校の先生だけには絶対になりたくない。ブラックすぎる。」と言っているの聞いており、教員採用試験の倍率の低さや退職率の高さを見るとそれも納得がいく。本来家庭が担うべき役割を学校が頼まれ、簡単に文句や注文をつけられ、負担が先生にかかりすぎだと思う。時間外手当の支給制度や人員配置を見直し、先生が保護者や地域や子どもから感謝されながら自分のプライベートも大事にできるようにしてほしい。 (森委員) (ご意見シートによる意見聴取)	本市では教員の働き方改革に取り組んでいるところであり、いわゆる残業時間を政令指定都市の中で一番少なくすることを目標にしております。令和3年度の状況ではありますが、20ある政令指定都市の中で、本市は3番目に残業時間が少ない状況となっております。 平日夜間及び土日祝日は、教員の長時間勤務の要因の一つである業務時間外の保護者等からの電話に対して、音声ガイダンスによる対応を行うことにより、業務時間外の負担軽減が図られています。 教員の人材確保につきましては、区長会議でも大きなテーマになっています。 本市では令和6年度に大阪市総合教育センター(仮称)が大阪教育大学天王寺キャンパス内に開設されます。この施設は、学校におけるさまざまな教育課題への対応を進めるとともに、教員の資質向上などを目的とするものですが、開設に伴い大阪教育大学とのかかわりがより強くなります。教育委員会では、この状況を利用して大阪教育大学の学生が大阪市の教員を目指してもらえるような取組を進めていきたいと考えています。 また、教員の処遇の向上につきましては、人材確保の観点からも非常に重要だと考えておりますので、初任給などは、他都市と遜色ないように向上を図り人材確保に努めているところです。 教員の処遇や人員配置については、大阪市全体の問題となりますので、教育委員会と共有するとともに、教員の頑張りについては、その姿を広報することにより保護者等に紹介してまいります。	④	教育支援担当
17	R4.10	第2回全区政会議	「クラブ活動の顧問について」 学校の先生でクラブの顧問をされている方が、自腹で生徒への差し入れジュースを用意されたりして頑張っておられます。そういったことへの対価などはあるのでしょうか。 (東野委員)	クラブ活動の顧問に従事することが、長時間勤務もしくは休日勤務の原因になっていることはこれまでも新聞報道等で話題になっておりました。そういったこともあり、昨今では、指導者の外注化や、地域のスポーツ団体の指導者を顧問に招くなど、外部に応援を求めることが検討されている状況です。	④	教育支援担当
18	R4.10	第2回全区政会議	「業務の外部活用について」 私の知っている高校教師は、生徒の進路のため、放課後や夏休み含めて受け入れの企業回りに翻弄されて、始発で出勤し終電で帰るといった状態が続いている。進学をしない学生に対しては外部業者などを活用し外注すれば、教師の負担が減り生徒との時間が設けられると思われる。 (荒田委員) (ご意見シートによる意見聴取)	大阪市では教員の補助的業務を担うスクールサポートスタッフを配置し事務負担の軽減を図っています。また、阿倍野区では、「学校園等支援ボランティア人材募集事業」を実施し、区内の市立小中学校・幼稚園・区役所でボランティア活動等に就いていただいております。	①	教育支援担当